

聖徳太子のイメージと信仰

53期生

I テーマ設定の理由

歴史上人物の中で、お札になったこともあり知名度の高い聖徳太子。しかしその正体には謎が多いといわれている。どんな謎があるのか、また聖徳太子に対するイメージは今、どう変わってきているのかも知りたかったのでこのテーマに決めた。

II 研究方法

- (1) 文献調査 聖徳太子に関する文献を図書館・資料館（法隆寺iセンター）で調べる。
- (2) 実地調査 聖徳太子の建てた法隆寺・四天王寺に行く。
法隆寺で参拝に来た人に協力してもらいアンケート調査をする。

III 研究内容

1. 聖徳太子に関する説

聖徳太子と言われて思い浮かぶのは、教科書などに必ずのっている二王子を従えた聖徳太子像だろう。しかしそれは太子の死後数十年後の服装であり今で言えば明治時代の伊藤博文がスーツを着ているようなもの。人相も想像で描かれたため、聖徳太子の本当の顔は今も分からない。服装などは本当は図のような感じになる。

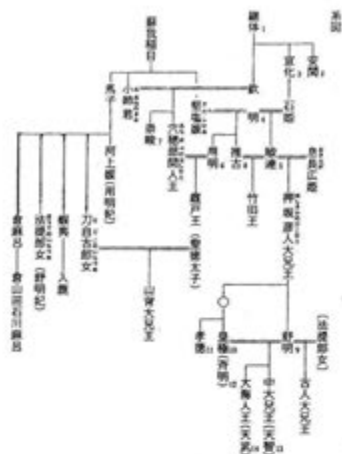
このように、聖徳太子はあまりにも有名でありながら、きちんとしたことは伝えられていないのだ。聖徳太子とは、生まれながらにして豊かな教養と優れた政治理念をもち推古天皇の皇太子・摂政となり十七条憲法や冠位十二階を制定し天皇中心の国家を築いた。そして仏教を敬い法隆寺・四天王寺などを建立、そのころの日本の文化と宗教にも大きな影響をもたらした偉大な人物のはず。このような聖徳太子に謎が多いと言われるのはなぜだろうか。それは、聖徳太子に関する史料は太子の死後一世紀後の成立のものなど不確かなものが多く、また中国の歴史書と矛盾点もあり史料に信憑性がないからなのだ。だから、謎も多くそれに対しあらゆる説が生まれている。

(1) 聖徳太子に関する“謎・伝説”とさまざまな説

- 伝説① 聖徳太子（厩戸皇子）は馬屋の戸の近くで生まれたため厩戸皇子という。
- 伝説② 生まれてすぐに言葉を発した。
- 伝説③ 十人の話を聞き分けた。
- 伝説④ 予知能力があった。



▲出典：聖徳太子
未完の大王



▲出典：〈聖徳太子〉の誕生

説 a：馬子を悪人にしたかった。

説 b：崇峻天皇にとって馬子は感謝すべき存在のはず。この話はフィクションだ。

説 c：崇峻天皇が天皇にふさわしくなかったから誰も暗殺を止めようとしなかった。

謎③ 推古天皇、初の女帝誕生の理由は？

説 a：消去法で推古天皇しかいなかった。女帝であることに深い意味はない。

説 b：地位があり、敏達天皇の死後の紛争で指導力を発揮したため。実力があった。

謎④ 隋が日本に使いを送った時の大王は阿每多利思比孤という男性だと隋書にあるが、その頃は推古天皇のはずだ。

説 a：アメタリシヒコとはアマテラスオオミカミという神の子孫が大王だという神話からきている大王の尊称ではないか。そしてそれは聖徳太子であった。

説 b：その頃は天皇と大王が両方存在していた。天皇は推古天皇、大王は馬子。馬子とは『日本書紀』編纂者がつけた差別的な名前前で本名はアメタリシヒコだった。

謎⑤ 太子は摂政なのになぜ都から遠い斑鳩に移ったのか？ 政治は行えたのか？

説 a：馬子との政争に敗れ隠棲。政治は全くしていない。

説 b：隋などと積極的に外交するには大和川により難波に直結する斑鳩の方が便利だった。

説 c：聖徳太子の政治的地位に変化があった。その頃から遣隋使など政治は活発にできた。

謎⑥ 聖徳太子が都へ行くとき愛乗した黒駒という馬がある。

他にも太子に馬や刃物が関連していることが多い。これは何を示すのか？

説 a：母の穴穂部間人皇子は古くはダビデ王の血をひく騎馬民族のリーダー的存在であった。そして産鉄の技術とともに日本へやって来た渡来人。だから聖徳太子も騎馬民族のリーダーのはずだが、畿内の王権の対立や確執を繰り返していくうちに同調融和してしまい騎馬民族であることが分からなくなっていた。



▲馬に上太子像

▲出典：聖徳太子はどこから来たか

説 a：古事記に記された聖徳太子の敬称「上宮之麩戸豊聡耳命」を、奈良時代の人々は理解できず敬称とは考えず字の意味からエピソードをつくってしまった。

謎① 聖徳太子にも濃く流れる蘇我氏の血すじ。蘇我氏とは何者か？

説 a：百済系の渡来人である。聖徳太子に関係深く秦氏は新羅系で古くはダビデ王の血をひく。

説 b：蘇我氏の系図は作られたものなのではっきりしたことは分からないが渡来人ではなく蘇我稲目のところに成立した氏族である。

謎② 崇峻天皇は馬子を嫌ったため馬子に暗殺された、と『日本書紀』にある。それは本当か？

説 a：本当の犯人は秦河勝と息長氏だが『日本書紀』編纂者は馬子を悪人にしたかった。

謎⑦ 聖徳太子が行ったはずの政治について。

説 a：その後の時代では皇太子の事業は律令の制定と国史の編纂と決められていたため太子が定めたとは限らない十七条憲法などは太子のものと思込まれた。

説 b：十七条憲法や冠位十二階は馬子が行った政治で太子は補助したにすぎなかった。

謎⑧ 聖徳太子は皇太子でありながらなぜ天皇にならなかったのか？

説 a：この時代、皇太子という地位はなかったが後の時代に聖徳太子は皇太子にあてはめられた。太子は皇太子ではなかった。

謎⑨ 聖徳太子は本当に病死だったのか？

説 a：馬子に毒殺された。

説 b：自殺である。

説 c：本当に病死。

謎⑩ 山背大兄王の死により聖徳太子の子孫全滅？

説 a：猿丸太夫（歌人）は太子の孫、弓削皇子に歌を教えられたが弓削皇子は生き延びたか分からない。

説 b：直系は滅びてもその他の人は生き残った。

謎⑪ 法隆寺は落雷、斑鳩宮は山背大兄王が攻められた時に焼失した。

それでも法隆寺や太子遺愛の品が残っているのはなぜ？

説 a：藤原不比等が名声を得るため法隆寺を再建、偽物を集めた。

謎⑫ 法隆寺が西院と東院に分かれているのはなぜ？

説 a：法隆寺はもともと2つの寺で東は太子、西には物部守屋が祀られている。

謎⑬ 法隆寺東院に祀られている救世観音は背面をくりぬかれ光背は釘で頭に打たれ発見されるまで木綿でぐるぐる巻にされていた。

扉には鍵も嚴重にかかっていた。これは太子の怨霊封じか？

説 a：律令政治により虐げられた物部氏の氏族が太子を恨んでしたことだ。

説 b：太子も一族を抹殺され、この世に恨みを残しているのではないか。

謎⑭ 『日本書紀』に太子の記事が多いのはなぜか？

説 a：仏教を広めようとしてたくさん記事をのせ神格化、伝説も作った。

説 b：藤原不比等が本当は存在しない聖徳太子を作り上げ、皇太子の重要さを示して政治権力を手に入れようとした。また、中国の皇帝に負けないような人物像にしたかったため神格化した。

謎⑮ 奈良時代になって急に出現した「三経義疏」は太子のものとするが…？

説 a：聖徳太子の作であると書かれた紙は貼り付けられていて信憑性がない。奈良時代に成立したと考えられる。

謎⑯ 林 羅山や荻生徂徠をはじめ、江戸時代の学者たちがこぞって聖徳太子を批難したのはなぜか？

説 a：自分の祖先が聖徳太子の出現により政治から虐げられたことを知った学者もいた。

謎⑰ 聖徳太子の墓が河内に3つある。

説 a：1つは物部氏族が太子の墓と称して物部守屋も合葬した。1つは聖徳太子のルーツの騎馬民族が建てたもう1つは推古天皇が建てた。



救世観音像（法隆寺蔵）

▲出典：聖徳太子の誕生

この他にも謎や説は無数にあった。ほとんど確定されている説もあれば、本当に正しいければ日本の歴史は変わってしまうのではないか、と思うほどスケールの大きいものまである。どの説が正しいのかを説明することもできないが、少なくともこれだけ多くの見方と考え方があるということが分かった。

(2) 聖徳太子のイメージについて

説①：救世観音なども藤原不比等と皇后がどこからか入手したもので現在の聖徳太子のイメージは奈良時代に自分達の権力を手に入れるためにつくったものがそのまま残っている。

説②：8世紀半ば、道鏡が法皇になり奈良の既成仏教に対し批判が起こった。このとき既成仏教は民衆の仏教離れを恐れて根強く残る太子信仰を利用した。太子伝が刊行され聖徳太子ブームに。また最澄が天台宗の祖、慧思を太子の生まれ変わりだと信じていたため太子信仰は比叡山に行き続ける。10世紀には太子の神話や伝説を集大成した「聖徳太子伝暦」が作られた。さらに親鸞が太子建立の六角堂へ行った時に聖徳太子よりお告げを受け、聖徳太子に救世主のイメージを重ねて救世観音を説いた。このような過程で太子信仰と供に太子のイメージも今に至る。

2. アンケート調査による現在の聖徳太子のイメージ

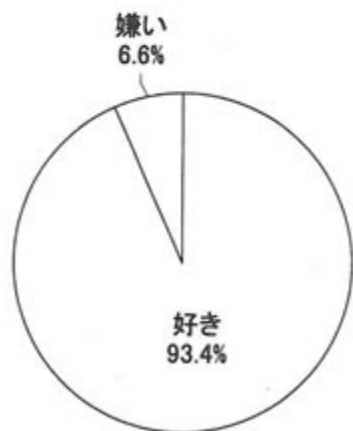
(1) アンケート調査について

法隆寺で、参拝に来られていた30名にアンケート用紙でアンケート調査を行う。アンケート内容は、主に次の4つ。

- ① 聖徳太子は好きですか
- ② 聖徳太子にはどんなイメージがありますか
- ③ 聖徳太子に関する言い伝えの中でどんなものを知っていますか
- ④ ③について信じられると思いますか

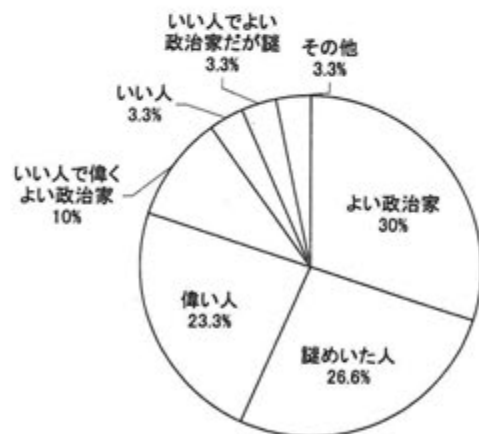
(2) アンケート結果

① 聖徳太子の好き嫌い



好感度は良い。

② 聖徳太子のイメージ (全体)



1位は良い政治家だが、謎めいた人が2位で、謎だと思っている人がけっこう多かった。

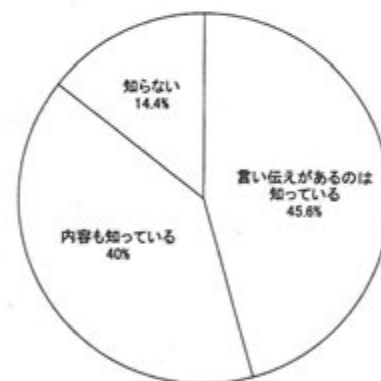
② 聖徳太子のイメージ (年代別)

15歳以下	よい政治家 50	いい人で偉くよい政治家 25	いい人 25			
15歳~20代	よい政治家 20	謎めいた人 80				
30代~50代	よい政治家 31.25	謎めいた人 25	偉い人 18.75	いい人で偉くよい政治家 12.5	いい人でよい政治家だが謎 6.25	その他 6.25
60歳以上	よい政治家 20	偉い人 80				

年代によってイメージにばらつきがあることが分かった。これには教科書や教育のちがいや最近ではいろいろな情報が手に入ることも関係しているかも知れない。

③ 聖徳太子に関する言い伝えについて

知っているかどうか



どんな言い伝えを知っているか



誰でも言い伝えを1つは知っていると思った。やはり一度にたくさんの方の話の聞くというのが多かった。

④ 言い伝えは本当だろうか?



聖徳太子が存在しないという説は初めて知ったけれど、そう思っている人が9.1%もいて驚いた。信じている人は27.3%で他の人は伝説は一部または全部つくられたと考えていることが分かった。

IV 結 論

聖徳太子について調べる前は謎すら知らなかったし、こんなに多くの説があることも知らなかった。調べた本以外にも、まだたくさん聖徳太子についての説を唱えている人や本があることも分かり、全部調べるのは本当に大変だと思った。今回調べた4冊の本でもそれぞれ目を向ける点が違えばそこから生まれる発想も大きく異なり、調べれば調べるほど混乱した。でも飛鳥時代・奈良時代共に政治的争いや氏族争いが絶えず、そのような中で政治家聖徳太子が存在、または生み出されていたことは分かった。そして歴史に記されていることはその氷山の一角でしかない。だからその一角からはあらゆる想像ができる。結局自分では、今伝えられている聖徳太子全てが本物の聖徳太子ではないということが分かった。また、聖徳太子に関する幅広い貴重なデータを集められた。

V 総 括

聖徳太子に関する説が無数にある中、どれに真実性があるかなどということは決められない。だから、こういう考え方もあるのか、と知っておけばいいと思った。この研究をした後、聖徳太子に対するイメージに変わりはないが聖徳太子と聞くと、存在したかどうかとも分からないのに、と疑ってしまうようになった。でも、いくら謎があっても平等でよい政治を行う聖徳太子という人物は日本の歴史から消え去ってほしくはない。

VI 参考文献

- ・遠山美都男『聖徳太子 未完の大王』NHKライブラリー (1997)
- ・小林 久三『聖徳太子はどこから来たか』PHP研究所 (1997)
- ・大山 誠一『〈聖徳太子〉の誕生』歴史文化ライブラリー (1999)
- ・藤井由紀子『聖徳太子の伝承』吉川弘文館 (1999)